

事業名 ワークショップ

目的 体験型・参加型のワークショップを行い、美術館や作美術品、鑑賞や表現活動に親しみ楽しむ

実施主体 新潟県立近代美術館

参加対象 幼児・小・中学生・高校生・大学生・一般

参加者数 ①18 ②10 ③15 ④5 ⑤9 ⑥34 ⑦3 ⑧82 ⑨47 ⑩35 ⑪8
⑫6 ⑬15 ⑭13 ⑮36 ⑯29 ⑰実施予定 特別14 合計379

回数 18回 **日数** **時間** 各1.5時間

場所 新潟県立近代美術館

内容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	5月4日14時～	発見!びじゅつかん「あなたの知らない美術館」	立川厚生主任学芸員
	内容・方法	美術館バックヤード等を見学し、作品展示を体験し、常設展を鑑賞する	
2	5月18日14時～	発見!びじゅつかん「クイズで読み解くコレクション」	宮下東子主任学芸員
	内容・方法	企画展で作品を探しながらクイズに答え、作品について楽しく学ぶ	
3	5月25日14時～	発見!びじゅつかん「開館15周年 私にとっての美術館」	安達昭 友の会前会長ほか 話題提供者8名 長谷川重雄学芸課長
	内容・方法	過去の美術館や企画展や気に入った作品等について参加者も交え語り合う	
4	7月6日14時～	びじゅつ☆体験隊「野外彫刻であそぼう」	立川厚生主任学芸員
	内容・方法	野外彫刻を鑑賞し野外彫刻を使ってあそび、身近な材料から発想した作品をつくる	
5	7月13日14時～	発見!びじゅつかん「ルオーのピエロを探せ」	宮下東子主任学芸員 平石昌子主任学芸員
	内容・方法	展示中のルオー作品を鑑賞し、パズルやセリフ入れを行い、作品に迫った	
6	7月20日14時～	びじゅつ☆体験隊「マティスの切り絵に迫る」	宮下東子主任学芸員 濱田真由美主任学芸員
	内容・方法	マティスの《ジャズ》の形の切り絵をつくり追体験するとともに鑑賞する	
7	7月27日14時～	びじゅつ☆体験隊「ロダンのポーズに迫る」	立川厚生主任学芸員
	内容・方法	展示中のロダン作品のポーズをまね作品を鑑賞するとともにロダン体操を行う	
8	8月10日14時～	びじゅつ☆体験隊「親子でアートI-①」	長谷川重雄学芸課長
	内容・方法	風船に色つき石膏を流し込み「夢が生まれる石コウのタマゴ」をつくる	

9	期日・時間	テーマ	講師等
	8月10日14時～	びじゅつ☆体験隊「親子でアートⅠ-②」	池上秀敏学芸課長代理
	内容・方法	スチロール容器や色つきの紙チップをならべて発想した形を貼り合わせてつくる	
10	期日・時間	テーマ	講師等
	8月17日14時～	びじゅつ☆体験隊「親子でアートⅡ」	池上秀敏学芸課長代理
	内容・方法	スチロール容器や色つきの紙チップをならべて発想した形を貼り合わせてつくる	
11	期日・時間	テーマ	講師等
	9月14日14時～	発見!びじゅつかん「ギャラリートークこどもの世界」	池上秀敏学芸課長代理
	内容・方法	常設展のこどもにかかわる作品を見て思いや感想を発表したり話し合う	
12	期日・時間	テーマ	講師等
	9月28日14時～	びじゅつ☆体験隊「国宝の秘密に迫る」	長谷川重雄学芸課長
	内容・方法	出品作品の雪舟「天橋立図」のコピーをつなぎ合わせ秘密を探り、作品鑑賞を行う。	
13	期日・時間	テーマ	講師等
	10月26日14時～	びじゅつ☆体験隊「水墨画に挑戦」	新潟大学山本眞也先生 長谷川重雄学芸課長
	内容・方法	墨の扱いや和紙への描き方を学び、描き方の練習の後、色紙に小品を仕上げる	
14	期日・時間	テーマ	講師等
	11月23日14時～	びじゅつ☆体験隊「日本画の印章、てん刻に挑戦」	毎日展会員・創芸展審査員 高橋和作氏 宮下東子主任学芸員
	内容・方法	篆刻についての講義の後、各自が決めた思い思いの文字を石に彫る	
15	期日・時間	テーマ	講師等
	12月14日14時～	びじゅつ☆体験隊「みんなで飾る美術館」	宮下東子主任学芸員
	内容・方法	色チップ・セロファンや色紙を使いモバイルやステンドグラス風の飾りをつくる。	
16	期日・時間	テーマ	講師等
	2月1日14時～	びじゅつ☆体験隊「能のうごきに挑戦」	新潟県能楽連盟理事 舩岡武雄氏 宮下東子主任学芸員
	内容・方法	能のうごきや足の運びの講義の後、摺り足やかまえ等、能の動きを体験する	
17	期日・時間	テーマ	講師等
	3月8日14時～	びじゅつ☆体験隊「浮世絵版画の色摺に挑戦」	立川厚生主任学芸員
	内容・方法	浮世絵の対象作品を鑑賞し、模刻の木版を使った数版の色摺を体験する	
特別	期日・時間	テーマ	講師等
	11月3日14時～	「アートキットで遊ぼう」	富山県立近代美術館 中川美彩緒副主幹 当館平石昌子主任学芸員
	内容・方法	展示作品にかかわ「指令」を解きながら企画展を巡り作品を観察、対話する	

成 果 ・ 昨年度6回を延べ17回に大幅に拡充して実施し、参加者の興味・関心に応じたワークショップへの参加を通して、美術作品や美術館の新たな一面に触れたり思いがけない鑑賞・表現活動をしたりし、アンケートでもおおむね満足の評価を得ることができた。

課 題 ・ やや回数が多く、広報や準備に十分な手間がかけられないものもあり、参加者数にはらつきが出た。より幅広い広報や実施方法等に検討を加え、より多くの参加者を得ることが課題である。

問合せ先 新潟県立近代美術館学芸課

電話：0258-28-4112